

## 今冬の電力需給見通し

2019年11月6日  
北陸電力株式会社

本日、経済産業省の電力・ガス基本政策小委員会において、今冬の電力需給に係る対応がとりまとめられました。

北陸エリアの今冬の需給見通しは以下のとおりです。

### 【北陸エリアの今冬の最大需要断面(10時)の電力需給見通し】

厳寒(2017年度並みの気象)の場合

(送電端、単位:万kW、%)

	12月	1月	2月
供給力	561	575	574
最大電力	518	542	542
供給予備力	42	32	31
供給予備率	8.1	5.9	5.8

(注1) 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会「電力需給検証報告書」より抜粋。

(注2) 供給力は火力増出力運転を考慮。最大電力はいずれも一日最大で想定している。

(注3) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

なお、同小委員会において、連系線を活用した電力融通等が行われることにより全国の各エリアで供給力を確保できる見通しが示され、今夏に引き続き、国として特別な節電要請は実施しない方針が示されました。

当社といたしましては、志賀原子力発電所が停止している中、今後の気温影響や大型電源のトラブルなどの不確定要素を考慮すると、厳しい需給状況となるため、電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

引き続き電気の効率的なご使用にご協力をお願い申し上げます。

以上

【参考】今冬の全国の最大需要発生断面(19時)における北陸エリアの電力需給見通し  
厳寒(2017年度並みの気象)の場合 (送電端、単位:万kW、%)

	12月	1月	2月
供給力	534	564	563
最大電力	512	528	528
供給予備力	22	36	35
供給予備率	4.3	6.8	6.6

(注1) 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会「電力需給検証報告書」より抜粋。

(注2) 供給力は火力増出力運転、計画外停止、連系線の活用(全国の各9エリアの予備率を均平化するよう供給力をエリア間で移動)を考慮。

(注3) 最大電力は全国で需要が最大となる断面における北陸エリアの見通し。

(注4) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。